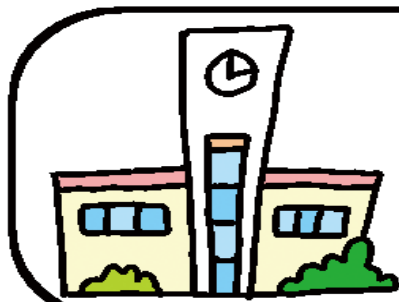




かやっ子

与謝野町立加悦小学校
研究推進委員会
令和6年7月18日
NO.1

課題に向かい 仲間と学び合うことを通して 自らの学びに生かす児童の育成

『主体的に学習に取り組む児童の育成』を目指して

今年度も、京都府教育委員会指定の研究「教科担任制を見据えた系統的な学び推進事業」を受け、教科担任制としては理科を、また、高学年において専門性を生かした交換授業を取り入れています。昨年度までの成果を踏まえ、今年度もさらに学習への自信と意欲をもち、自ら学びに向かう子どもたちを育てていきたいと考えています。

保護者の皆様には、昨年度同様に様々な取組へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



教職員の校内研修会では、「主体的に学習に向かう児童とはどんな子だろう??」と意見を出し合いました。主体的に学習に向かうためには、授業だけではなく、学級活動や特別活動（チーム、委員会等）をする時に、子ども達一人一人が自分の事として学習に向かうことが大切です。

今年度は、主体的に学べる子を目指して、学ぶ子どもの姿を明確にし、R6年度がスタートしました。高学年を中心に自己調整学習に力を入れていきます。

学校教育目標

学ぶ意欲をもち 豊かな心で 人とつながりを大切に 自立する児童の育成

研究主題

課題に向かい 仲間と学び合うことを通して 自らの学びに生かす児童の育成

主体的に学べる子

- ・自分の考えや思いをもち、伝えられる子
- ・学び合いを通して、解決できる子
- ・自己調整しながら学び続ける子

低学年の目標

- ・理由をもって、自分の考えを表現できる子
- ・自分と友達の考えを比べて聞き、学び合える子

高学年の目標

- ・明確な目標に向かって、計画的に取り組む姿
- ・相手意識をもって、伝え合いを楽しむ姿
- ・ふり返り（成果と課題）から学び続ける姿

『主体的に学習に向かうための単元導入の工夫について』

① 社会科の研究授業（5年1組）授業者：小坂 晃子教諭

『あたたかい土地の暮らし／寒い土地の暮らし』の学習を校内の教職員で参観し、学び合いました。

この単元では、最初の時間に動画や教科書の写真から自分達が知っていることや気になること、調べたいことを出し合い、学習問題や学習計画をみんなで相談して決めました。子ども達は調べたい方の土地や調べ方を選んで学習を進めていました。本時では、あたたかい土地、寒い土地の農業にはどのような違いがあるのかを教科書の文やグラフから読み取っていました。読みとったことを、タブレットにまとめていました。まとめ方もそれぞれで、文章を書くだけでなく、写真やグラフを入れたり、キーワードを使って短くまとめたりしていました。さらに、まとめたことを同じグループ、全体で交流し、違いについて確認しました。どちらの地域もそれぞれの気候に合った農業をしていることが分かりました。自分の興味がある内容について、詳しく調べてまとめることができたので、楽しく活動することができました。

子ども達に自己調整学習する力を付ける為に、“自分で選択して学習を進める”ということを大切に授業を行いました。



② 理科の研究授業（4年1組）授業者：室田 裕之教諭

『電気のはたらき』の学習を外部の先生方や校内の教職員で参観しました。単元の導入で、“電気ので動くプロペラカーをつくることができるか”という学習問題を考えて学習をスタートさせました。電池を入れても動かないプロペラカーのひみつをさぐったり、プロペラカーを速くする方法を考えたりしました。本時では、「電池の数を増やせばプロペラカーって速くなるのだろうか」の問題をみんなで考えました。どのように実験したらよいか計画を立ててグループで実験をしました。子ども達は、3台のプロペラカーを比べ、直列つなぎは速いことや、電池1この時と並列つなぎは同じくらいの速さで走ることが分かりました。

4年生は、4月から理科専科の授業がスタートしています。自分の予想と結果を関係付けたり、自分の生活や事象を関係づける経験を重ねながら、考察の中で『関係付ける』ことを大切にしながら授業を進めています。この学習で習ったことを生かして、生活の中の電池のつなぎ方にも興味をもってほしいと思います。



1学期の学習が全て終わりました。既習したことを復習することで、力が付きます。夏休みを有効に活用して、苦手なところにもチャレンジしてほしいです。2学期も元気・やる気いっぱいな子ども達に出会えるのを楽しみにしています。

